

火災後の復旧 火災後の浄化システム評価

2025年1月1日

環境衛生



COUNTY OF LOS ANGELES
Public Health

敷地内廃水処理システム（浄化システム）は、その機能的構成要素のほとんどが地下にあり、通常、火災被害には耐久性があります。浄化システムの被害は通常、火災後の処理段階で発生します。

公衆衛生局は、安全に帰宅できるようになったら、以下の行動を取ることを推奨しています：

- 熱で影響を受けた可能性のある地面の上や近くの塩ビ配管に破損がないか、システムを点検する。
- 浄化槽を見つけ、破損がないか点検する。プラスチックやグラスファイバー製のタンクや蓋は、火災や高熱にさらされると溶けて、タンクやライザーに穴や弱点ができることがあります。
- 浄化槽への偶発的な落下を避けるため、その場所をロープで囲み、修理ができるまで、開口部をベニヤ板などで覆う。
- 散水場の位置を確認し、破損がないか点検し、その場所をロープで囲む。
- 浄化システムの構成部品がある場所には重機を置かない：
 - 交通規制のない浄化槽の上を運転すると、**浄化槽が崩壊する恐れ**があります。
 - 浸出場の上を走行すると、**浸出管が崩壊し**、重機で瓦礫を掻き出すと、浸出管のカバー材が取り除かれ、システムが故障する恐れがあります。
 - 浸出ピットの上を運転すると、**ピットが崩壊し**、システムが故障する恐れがあります。
- 補足処理部品: ポンプ、配線、フィルター部品は、火災によって損害が発生し、システムの機能に影響を与える可能性があります。感電の可能性があるので、破損した配線の周囲には十分注意してください。修理は、システムの製造元から認定を受けた業者に依頼してください。

浄化槽が破損したり、逆流したり、故障したりした場合は、使用を中止し、認可を受けた浄化槽工事業者および当事務所に修理を依頼してください。

火災で家が全焼した場合は、<http://www.publichealth.lacounty.gov/eh/business/onsite-wastewater-treatment-system.htm>から入手可能な**火災再建ガイドライン（Fire Rebuild Guideline）**をご覧ください。

ご質問やその他の情報が必要な場合は、土地利用プログラム（Land Use Program）までお電話(626) 430-5380またはメールdlanduse@ph.lacounty.govでお問い合わせください。